山陰

編集　山陰教区基幹運動推進委員会
発行　山陰教区教務所
〒六九〇-〇〇〇二　松江市大正町四四三ノ一
本願寺山陰教堂
TEL　〇八五二㉑四七四七
FAX　〇八五二㉗八三五一
発行者　野村宗雄

寺院名物シリーズ⑲　浜田組　覚永寺本堂の龍の彫刻

本堂外陣の左右の梁の上にある龍の彫刻は、石見の三門（木田の正蓮寺、市木の浄泉寺、阿須那の西蓮寺）の彫刻を手がけ、「和田の匠」と呼ばれた名工・豊原（長山）喜一郎（1820～1883）の作と伝えられています。覚永寺向かいの山中に仮住まいしながら作品を仕上げたと地元の古老から聞いています。本堂正面にも龍の彫刻（作者不明）があり、梁の上にある龍に気づく人はほとんどありませんが、一刀彫りの迫力ある作品です。

新たな始まりに向けて

山陰教区基幹運動推進委員会　副会長　澤田隆之

教化センター建築の槌音響く三月十五日、教区基推委員会総会が開催されました。この総会では二〇一〇年度事業報告、及び二〇一一年度運動計画事業案について慎重な審議が行われました。

特に新年度は基幹運動総合基本計画最終年度に当ると共に、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要勤修など節目ともなる年度であります。

こうした中で「新たな始まり」―明日の宗門の基盤作り―を基本的なコンセプトとする七五〇回大遠忌宗門長期振興計画（二〇〇五～二〇一七年の期間十二年）が策定され、六つの重点項目（①大遠忌法要の勤修と記念行事の推進。②教学・伝道の振興。③寺院活動の推進。④社会活動の展開。⑤次代を担う「人」の育成。⑥宗務機能の整備拡充）を掲げ、これらの実践に向けた十五の具体的項目が示されたことであります。

このことを受けて中央では宗制・宗法の改正をはじめ、組画の再編等々大きな変革がなされつつあることはご承知のとおりであります。

一方、教区基幹運動推進計画においてもこれらの流れを受け、運動の総合基本計画（後期）に基き目標・スローガンを同じくしながら、教区の課題を①組織教化活動の充実、②社会問題への対応、③過疎問題への取組み、④文書伝道の充実の四点に集約し、それぞれの地域に相応しい基推活動を展開して頂くようお願いするところであります。中でも組画の変更など見込まれるところは新たな組織づくりが求められること等ご苦労も多いことと存じます。

また、「新たな始まり」に向けて同朋教団再生・環境・平和・生命倫理・自死・ビハーラ・ボランティア・社会福祉推進協議会・キッズサンガ等々各組各ブロックでの積極的かつ特色ある取組みを期待することであります。

最後に、去る六月二十二日召集の第一回中央基推委ですが、冒頭総長より東日本大震災被災者への哀悼と宗門としての取組みと共に、今後は被災者の悲しみに寄り添う心情で事に当りたいと述べられ、また懸案の宗法改正がなり、総局と宗会の協働体制が整った旨報告がありました。中央相談員からは宗報二月号及び六月号掲載のように次期総合基本計画策定へ取組んでいるとの報告でした。

ビハーラ山陰『公開講座』
参加者倍増　七十五名が熱心に受講

三月十一日、二〇一〇年度のビハーラ山陰『公開講座』が出雲市民会館において開催されました。ご講師・龍谷大学教授・鍋島直樹先生より『親鸞における生と死』について、ご丁寧なご講義をいただきました。一昨年より昨年、昨年より本年と倍々の参加者増の中、盛会裏に講座を終えることができました。

鍋島先生からは「ビハーラ活動は、仏教を背景として、患者とその家族を全人的に支援する活動」であることを確認された上で、「親鸞聖人がどのように死を受けとめ、生死を超える道を見開いたかについて明らかにし、浄土教を背景とする看取りの姿勢」についてご講義をいただいたことです。

現在、ビハーラ山陰では会則を整えて更なる活動をめざして準備しております。教区内の皆様には、ビハーラ活動に対するご理解をいただき、ご協力、ご支援をお願いいたします。

山陰教区門徒推進員連絡協議会
妙好人因幡の源左のおひざもとで
門徒推進員が「泊まり込み」で研修会

三月二十七日から二十八日、山陰教区門徒推進連絡協議会では八十九名が参加して、青谷の願正寺（因幡組）、鹿野町『山紫苑』を会場に一泊二日の日程で「基幹運動推進研修会」を開催しました。

二十七日午後は願正寺・衣笠ご住職より「妙好人に聞く」と題してご講話をいただき、「親鸞聖人のみ教えに学ぶ」のテーマにより『パネル討論会』が行われました。夜は山紫苑にて懇談会がもたれ、翌二十八日は同会場にて「妙好人に学ぶ」の課題提起を受けて『話し合い法座』が開かれました。

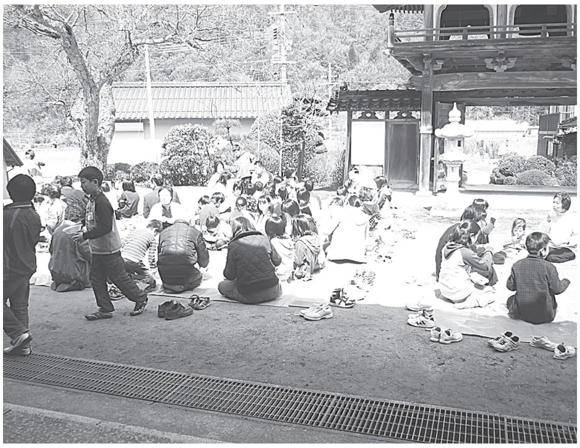
パネル討論会では島田眞知子さん（松江組真光寺）が「門徒推進員の自覚」、錦織友江さん（出雲組宗玄寺）が「私の活動」、房安薫さん（因幡組願正寺）が「妙好人に学ぶ」と、三者三様の立場から課題提起をされ、熱心な討論会となりました。

ほとけの子どものつどいについて

四月一日（金）、邑智西組光西寺において、「山陰教区　ほとけの子どものつどい」が開催されました。教区内より子どもたち九十一名が集まり、仏参・ゲーム・ウォークラリーと楽しい時間を過ごしました。

この集いの開催については教区の各教化団体の協力をいただきました。仏婦等、教化団体に参画のご依頼をし、各教化団体の活動項目に組み入れていただきました。

なお、この集いは山陰教区内をブロックごとに周り開催しております。今年度は二十四年春休みに鳥取ブロックでの開催予定です。



御本山 近 用達
株式会社 川勝法衣店
フリーダイヤル 0120-075-055
（600-8344）京都市下京区花屋町通油小路東入
電話（075）371-0367（代）
FAX（075）371-5088

七條袈裟　旗・幕
五條袈裟　念珠・門徒式章
色衣・切袴　袢・稚児衣裳
黒衣・布袍　記念品一式
打敷・戸帳
御本山御用達　開明社員
井筒法衣店
代表取締役社長　幾田潤
（〒600-8503）京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）
フリーダイヤル TEL　0120-075-720
フリーダイヤル FAX　0120-075-490

山陰教区仏婦連盟
ー松江テルサに相い集いー　平成23年度総会、開かる

四月十八日（月）、「平成二十三年度山陰教区仏教婦人会連盟」の総会ならびに研修会が開催されました。松江「テルサ」には教区内全組から会員が集い、参加者は四〇三名でした。

午前中の総会では事業計画や予決算、ダーナ会計について審議され、承認をいただきました。

また、午後からは仏教婦人会連盟講師・嘉屋英嗣先生より『念仏に生かされる喜びを行動に』のテーマをもとに基調講演をいただきました。特に本年は親鸞聖人七五〇回大遠忌の年であり、また世界仏婦大会の開催される年でもあり、このご勝縁に出遇えた喜びを子や孫に伝えてゆくとともに、多くの方々と分かちあいたいものです。

第十四回世界仏教婦人会大会に参加して

大田組常見寺門徒　大　迫　五十鈴

本山に着いてまず耳にした「新門様に五月十二日、お子様がお誕生になられた」というニュースは、心苦しい今の世の中に輝やく光が降り注がれたように、大会に参加した人々の心を明るくしていただきました。

第十四回世界仏教婦人会大会の会場であるパルスプラザでの夕食会、四千もの人が一同に食事をするその大規模な雰囲気は圧巻でした。日本全国、世界から集まっておられるというのに混雑することもなく、会の運営に携わってこられた方々は入念な打ち合わせ等されたことでしょうが、すべてが平然と進められていったことに、感心と感激、そして感謝でした。

今から五十年前、親鸞聖人七百回大遠忌法要に合わせて開催された第一回世界仏教婦人会大会時には、ブラジルから四十日間もかけて船で日本に来られたというお話を聞き、世界に浄土真宗が広まっていくことの偉大さを感じました。

四十年ほど前のことです。当時私はオランダのハーグに住んでいました。オランダ人の友人であるワィンチャー夫妻は、日曜日になると私をロッテルダムにある教会へ連れて行って下さいました。きっと宗教色を出さない若い私を心の拠所となる宗教に出合わすために教会へ連れて行って下さったのではないかと、この度の大会に参加して彼等の心の深さをやっと思い知ることが出来ました。今、日本でこうしてご仏縁を頂いている私の姿をワィンチャー夫妻が見て下さったなら、きっと安心されるであろうと思います。

今まで気付かなかったことに気付かされ、自分一人では生きていけない、多くの方々のお蔭により生かされていることを実感した三日間でありました。すべてに感謝の気持ちでいっぱいです。

伝統ある京佛具を後世に伝えたい
浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用　在家用　仏壇　仏具　記念品
株式会社
古田佛具製作所
営業時間／午前9時より午後5時30分　定休日／日・祝日
〒600-8227　京都市下京区七条堀川上ル菱屋町（西本願寺前）
TEL（075）343-2341　FAX（075）343-0836
http://www.furuta-butsugu.jp

Your Global Lifestyle Partner
株式会社JTB中国四国
松江支店
住所：〒690-0003
島根県松江市朝日町480-8 松江SKYビル1Ｆ
TEL：0852-23-2020（国内旅行）／23-2024（海外旅行）
0852-23-6720（団体旅行）
FAX：0852-23-2023

仏婦幹部研修会での学び

山陰教区仏教婦人会連盟委員長　田中恵子
（石東組松林寺）

去る六月三、四日にかけて、仏教婦人幹部研修会が開かれ、私は、こぶしの里、恵信尼さま会館に行って参りました。

一度は行ってみたいと思っていただけに、こんなに早くその機会を与えて下さった事に、感謝でございました。

ちょうどその日は、恵信尼さま会館の落成慶讃法要がとり行なわれ、私達評議員も参拝させて頂くという、尊いご縁にもあわせて頂きました。

会館は、以前の写真と比べて本当に素晴らしく、明るくて美しく建ち変わっていました。

その夜は、日本で唯一、ロビーに大仏壇が安置されている赤倉ホテルに一泊しました。支配人の説明をきくにつけ、その土地の方々の信仰の深さに感動でございました。そこでは、本願寺派布教使、清岡隆文先生に、「恵信尼さまのご生涯に学ぶ」と題してご講議を賜わり、親鸞さまのご生涯もあわせて多くの事を学ばせて頂きました。

翌日は晴天に恵まれ、遠くの山脈には残雪があり、とても素晴らしい景色を見ながら、本願寺国府別院に向かいました。

親鸞聖人三十五才の時、法難によって越後国府にご流罪になられ、国府別院の地で恵信尼さまとの結婚生活を営まれたご様子を、ご輪番・中村祐順先生によりご講議を頂きました。

帰りの時間も迫って来ていましたが、全員で親鸞さまがご上陸された居多ヶ浜に足を運び、その当時は、雪も想像以上に深かったといわれるその静かな浜で、遠い昔を偲ばせて頂きました。

お念仏の母と慕われる恵信尼さまは、親鸞さまを観音菩薩の化身と仰がれ、六人のお子様を育てあげ、お孫さんや教えを受けた方々にお心をつかわれておられたご様子など、色々な角度から学ばせて頂いた二日間でした。

その中のわずかでも、これからの私の日々の生活に生かしていきたいものと思わせて頂きました。

折りしもこの度は、東日本大震災の後で、私達が出発する前日も新潟で地震がありました。無事に行って帰れた事も感謝でございます。

基幹運動推進　合同研修会

基幹運動総合基本計画の最終年度に向けて

五月二十六日、本願寺山陰教堂において小林義教・中央相談員を招聘して、「基幹運動推進合同研修会」が組基推会長（組長）、組相談員、そして教区基推委員の計五十九名の出席のもとに開催されました。

本年は「基幹運動総合基本計画」の最終年度にあたりますが、まず「門信徒会運動研修協議会」では「開かれたお寺をめざして」のテーマにより仏壮拡充、キッズサンガなどの事業展開を視野に、「男女共同参画と僧侶と門信徒の課題の共有」を図ることを目指してまいりました。研修協議会はおおむね全組で行われ、高い実施率を上げていますが、仏教壮年会の登録は二十％余り、キッズサンガ事業はおよそ百ヶ寺（二十五％）というところが現状です。

一方「同朋運動僧侶研修会」では、特に後期の三年間は教区事情に基づく課題を取り上げての研修となり、基推・社会部会を中心に「靖国」「ビハーラ」と取り組み、本年は「自死・自殺」の課題に取り組むことになっています。「御同朋の願いに応える教学の構築を目指す」という重点項目に基づくものであり、差別や偏見などの中で苦悩する人々の悲しみに寄り添う活動として展開されることが望まれます。

いよいよ明年からは新組画による体制となりますが、各組、各寺院が核となった組織的な活動が図られるよう教区内の皆様のご理解とお力添えを賜りますようお願いいたします。

お仏壇・仏具は　やっぱり京都・・・
朝に礼拝　夕に感謝
SINCE 1830
伝統工芸　京仏壇・京仏具
(株)若林
www.wakabayashi.co.jp
京都本社／京都市下京区七条通新町東入
☎(075)371-3131 ㈹ 年中無休〒600-8218
フリーダイヤル 0120-37-8585（各店共通）
東京店・築地店・札幌店・仙台店
近江草津店・福岡(営)・新潟(営)
E-mail info@wakabayashi.co.jp
心に残るご法要を…
Support 750
MADE IN KYOTO

少年教化指導者のつどいに参加して

因幡組　光輪寺門徒　乾　正美

六月九日、親鸞聖人七五〇回大遠忌・少年連盟設立五十周年記念大会『少年教化指導者のつどい』に参加させていただき、水谷修先生の熱い講演を聞かせていただきました。

私達が子供の頃、また産まれる以前は、お寺の中で子供同士が学び合い、また近所の方やお寺の方々がかかわって下さって、カウンセリングの場として、お寺が親しまれてきました。なぜカウンセリングという言葉を使ったかというと、講演の中で水谷先生自身が、そう感じていたと話されたからです。今も変わらず時代が流れていれば、カウンセリングはいらないのです。今の世の中は、家庭の中に自分の居場所が見つけられず、夜の世界にとび出して行く子供達がどんどん増えていると話されました。現在、お寺と子供達はどんな風につながっているのでしょうか。

子供をとりまく環境が、昔と違って大きく変化しており、だからこそお寺に集い、子供を集めるのではなく大人が多く集まり、子供の思いについて話せる場所を、私達の手で確保する必要があるのではないかと感じました。そして、寺子屋が親であり、祖父母の役割をして活躍していける様に、私達に何が出来るのか、今一度見つめ直すいい機会をいただきました。

光輪寺では、年間八回程の寺子屋行事が行なわれていますが、今回のつどいに参加させてもらったことを、今後の寺子屋活動に生かしていきたいと思います。

今回のご縁をいただいたことに感謝です。ありがとうございました。

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要（四月から六月）

大遠忌法要がスタートしました

今春四月から、毎月の九日から一六日まで、ご本山でお勤めされた親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が、六月十六日をもって前半の法要が終了しました。

京都までの長旅にも関わらず、「五〇年に一度の法要にお参りできた」という喜びの声を多く聞かせていただきました。

法要に併せて、親鸞聖人のご旧跡、書院・飛雲閣、新しく完成した龍谷ミュージアムや本願寺門前町で開催されている「ご縁まちフェスタ」などをコースに入れる団体もあったようです。

午前・午後と一日二回厳修される法要は、総長あいさつ、記念布教の後、「縁儀（えんぎ：法要に出勤される方々が、阿弥陀堂から渡り廊下を進み、堂内入口正面より内陣へと練り歩く儀式）」が行われ法要開始となります。

お勤めは九日から十二日は「宗祖讃仰作法 第一種」、十三日から十六日は「宗祖讃仰作法 第三種（音楽法要）」です。参詣の皆さまの読経の声やお念仏の声が満堂に響く様は、大きな感動を呼び起こします。

そして、法要の後、ご門主、新門さまよりお言葉をいただき、この法要が始まる一ヶ月前に発生した東日本大震災を受けてのお言葉も頂戴しました。

「被災の悲しみに寄り添いともに支え合おう」。本山の各所には義援金募金箱が設置され、法要終了後、職員の方々からの義援金募金の呼びかけに募金をされる方も多くおられました。

前半の全国からの団体としての参拝が一四九、〇六八人。一般の参拝者を加えると、十七万人にも及んだそうです。各月の団体としての参拝者は四月が四九、〇三八人、五月が四九、四七〇人、六月が五〇、五六〇人でした。

山陰教区からの団体としての参拝は、延べ三九団体三、三一〇人。各月の参拝者、四月が一八団体七〇〇人、五月が六団体七九九人、六月が一五団体一、八一一人でした。

九月九日からは後半の法要が始まります。こちらも山陰教区から多数の方々がお参りされます。この法要がさらなるお念仏繁盛の機縁となることを念願いたします。

大遠忌法要の風景
門徒推進員がお出迎え
「ようこそのお参りでございましたぁ！」

阿弥陀堂門、そして御影堂門で、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要にお参りになられた方々を元気な声がお迎えし、お見送り。青地に白抜きの『安穏』法被を着て送迎してくださるのは、全国から馳せ参じた門徒推進員・奉仕員の面々です。

現在全国で約八〇〇〇名が登録されていますが、山陰教区では五九七名（七月現在）が登録され、四七九名が元気に活躍されています。

本山での奉仕員活動は、一昨年の大谷本廟報恩講を皮切りに、二度の御正忌法要、そしてこの度の大遠忌法要となりますが、奉仕員の方々のお出迎えは大変好評です。

この度の大遠忌法要にも山陰教区からは二十一名の参加申し込みがあり、四月から六月までの法要で十九名が奉仕を終えられました。高橋良実さん（千須賀組）は九十二歳、最高齢のご参加です。

仏教壮年会総会

四月二十四日（日）、本願寺山陰教堂本堂において総会が開催されました。本年は役員改選の年であり、新理事長に大家組龍藏寺仏壮泉原省三氏が選出されました。

二期にわたり理事長を務められた杉本健治氏は顧問として引き続きお世話になります。

本年は大遠忌の年であり、九月三日にはご本山で全国大会も開催されます。

行事の多い中ではありますが、ここで力を緩めることなく、教区内行事であるブロック研修会は引き続き行い、結成率上昇を目指し活動してまいります。

ご挨拶

この度、大遠忌の年に有難いご縁を賜り四月から山陰教区教務所に勤務させて頂いております。

宗務所勤めは初めての事で戸惑う事が多々ありますが、これからも皆様方に支えられ、そしてご指導を賜りながら精一杯努めて参りたいと思います。

どうぞ宜しくお願いいたします。

また、このご縁で頂いた経験を今後の活動に活かせる様、努力していきたいと思います。

瀬戸川　茂子

団体参拝・奉仕団
記念行事の記録に **記念アルバム**
制作いたします
1冊1,200円から（部数により価格は変動します。詳しくはお問い合わせください）
※税込み・30冊注文時・表紙込16頁 写真35点程度掲載・A5判横型・針金中綴じ
株式会社 谷口印刷
〒690-0133 松江市東長江町902-59
電話(0852)36-5888
FAX(0852)36-5889

「古民家のひとりごと」好評発売中!
1,600円　お求めは各書店・ハーベスト出版まで
★新刊予告
「親子で読んでほしい 有福の善太郎」⇒今秋発刊予定
ハーベスト出版
〒690-0133　松江市東長江町902-59
TEL(0852)36-9059　FAX(0852)36-5889

仏壇・寺院用品・製造・修復
報恩感謝
ぶつだんの
内田東進商店
木 次・☎(0854)42-0266　下熊谷・☎(0854)42-3711
出 雲・☎(0853)21-3253

本願寺山陰教堂教化センター竣工

教務所長　野村宗雄

山陰教区親鸞聖人七百五十回大遠忌記念事業として推進しています本願寺山陰教堂教化センター開設については、おかげをもちまして、このたび予定通り六月末日をもって建物工事が完了、七月四日に施工業者より引き渡しを受けました。

今後、教区の中心として教堂本館（本堂）とともに皆さまに多目的にご利用をいただけることとなりました。ここに謹んでご報告し、ご協賛賜りました皆さまに、あらためて厚くお礼申し上げます。なお、一階研修室にご本尊をご安置申しあげる正面中央のお荘厳は、これより仏具業者による調製を始め、九月初旬に完了のこと、ご承知ご了解をお願いします。

早速に、引き渡し当日に研修室へ机・椅子を搬入し、翌七月五日開催の「キッズサンガサポーター研修会」に研修室および二階の和室を使用しましたところ、参加者の方々からは、明るくて快適と好評でありました。

研修室の荘厳を調えご本尊をお迎えし、いよいよ来る九月二十八・二十九日には、教化センター落成記念慶讃法要、教区・教堂の親鸞聖人七百五十回大遠忌法要をお迎えいたします。ご案内は収容人数の関係から各組十名の代表となり、組長さまに参拝者のご依頼をお願いしていますが、皆さまにはこのご法要に関わらず、折を見て教堂の方へご参拝になり、新しい教化センターをご覧いただければと存じます。

なお、教堂敷地内駐車場に設置されていました施工業者現場事務所のプレハブ建屋が工事終了にともない撤去され、従前の広さに戻りました。これを機に教堂・教務所に用のない車、あるいは関係者以外の迷惑駐車への対応策を検討しています。これに関しては、あらためて関係の皆さまにご通知しますが、ご理解・ご協力をいただきますようお願いします。

6月21日、内装工事もほぼ終わり、完成間近な教化センター

5月27日、教化センターの全貌現る

7月5日、使い初めは「キッズサンガサポーター研修会」

7月4日、完成の暁、引き渡しが行われました

山陰教区行事　予定

部門		行事名	期日	会場	講師	参加者
総代会		総代研修会（鳥取）				
		総代研修会（出雲）				
		総代研修会（石見）				
		全国総代会／連区研修会（協議会）				
仏教壮年会		総会･研修会	4月24日	本願寺山陰教堂	藤井邦麿	
		ブロック研修会　　鳥取地区	8月21日	因幡組　西法寺	山名立洋	
		出雲地区	10月1日	飯石北組	本多昭人	
		石見地区				
		全国仏教壮年大会	9月3日	京都・本願寺	鎌田　實	70名
		中･四国地区仏壮会員研修会（3年に1回）	本年度、なし			
		単位会結成に向けた研修会	秋頃	四州教区		
		会報「壮創」発行	12月発行予定			
仏教婦人会	仏婦	教区仏婦連盟総会	4月18日	松江テルサ	嘉屋英嗣	403名
		仏教若婦人研修会	本年度、なし			
		中･四国仏婦大会	大遠忌法要のため延期			
		仏教婦人幹部研修会	6月3日～4日	国府教区		1名
		若婦人中央研修	11月19日～20日	京都・本願寺		
		第14回世界仏教婦人会大会	5月15日～17日	京都･本願寺､パルスプラザ	大平光代	117名
	寺婦	寺族婦人研修会	H24年2月～3月	本願寺山陰教堂教化センター		
		寺族若婦人研修会	8月30日	邑智東組高善寺	澤田隆之､武田正文	
		研修旅行（隔年）	本年度、なし			
		会報「寺族婦人のひろば」発行	H24年3月発行予定			
青少年	少年	総会	7月6日	本願寺山陰教堂		14名
		指導者研修会	本年度なし			
		少年教化指導者のつどい	6月9日	京都・本願寺	水谷　修	14名
		中･四国ブロック指導者研修会（大遠忌法要のため延期）				
		仏の子どもの集い	H24年春休み中	鳥取ブロック		
		広報紙｢はばたき｣発行	H24年3月発行予定			
	保育	まことの保育大学講座（連区）	大遠忌法要のため延期			
		全国保育大会	7月23日～24日	京都・本願寺	寺川智祐	12名
		総会・理事会	7月4日	本願寺山陰教堂		4名
		教区まことの保育入門講座				
	仏青	全国真宗青年の集い	8月6日(7日法要参拝)	本願寺御影堂	的場 亮	4名
		第５８回中央研修会				
		仏青ブロック研修会	10月1日～2日	島根町マリンパーク多古鼻	村上 元	
		教区の集い	H24年2月～3月	本願寺山陰教堂教化センター		
		本山成人式				
	寺青	教区寺族青年僧侶研修会				
		第35回全国寺族青年軟式野球大会	9月27日～29日			
		中･四国地区寺族青年野球大会	6月22日～23日	岡山マスカットスタジアム(備後)		13名
勤式		組勤式推進員連絡協議会	H24年2月			
		法務員・特別法務員研修会	7月13日	本願寺山陰教堂教化センター	満田宣也	14名

2011 (平成23) 年度

部門		行事名	期日	会場	講師	参加者
基推委員会	基推	基幹運動推進委員会（総会）	H23年3月26日	本願寺山陰教堂	小林義教	47名
		合同研修会	5月26日	本願寺山陰教堂	小林義教	59名
		組相談員研修会	6月29日	本願寺山陰教堂	竹本了悟	22名
		基幹運動推進婦人研修会	6月30日	松江テルサ	竹本了悟	144名
		キッズサンガ・サポーター研修会	7月5日	本願寺山陰教堂教化センター		36名
	ブロック	5ブロック基推連絡会（ブロック開催）	7月～8月			
		同朋僧侶研修会（組、ブロック開催）				
		門信徒会運動研修協議会（組、ブロック開催）				
	連研	連研のための研究会	10月4日	本願寺山陰教堂教化センター	巖后範之	
		連研履修者研修会				
	矯正	矯正教化連盟広島支部総会	6月23日	広島別院		1名
		矯正教化連盟広島支部（教誨師）研修会	H24年2月	山陰教区		
	広報出版	教区報「山陰」発刊　1000部（120号、121号、122号）				
		ホームページ「山陰教区」 http://www.saninkyoku.net				
		妙好人カレンダー発行（20000部）				
社推協	社推	各施設カレンダー配布				
		連絡協議会				
	ビハーラ	ビハーラ第４連区連絡協議会	本年度、なし			
		ビハーラ活動第４連区集会	本年度、なし			
		ビハーラ山陰総会	10月5日	本願寺山陰教堂教化センター		
		ビハーラ全国集会	12月3日～4日			
		ビハーラ公開講座（協議会）				
僧　侶		僧侶研修会	9月6日～7日	出雲市民会館	楠　淳證	
		勤式講習会（僧侶研修会と併修）	9月6日～7日	出雲市民会館	徳川真英	
		教学座談会（僧侶研修会と併修）	9月6日～7日	出雲市民会館		
門推協		総会･研修会	7月16日	本願寺山陰教堂教化センター	坂原英見	100名
		基幹運動研修会	H24年3月			
		第４連区門徒推進員研修協議会	大遠忌法要のため延期			
		門徒推進員の集い（本山）	本年度、なし			
		会報「ともしび」第13号発行、900部	H24年2月発行予定			
布教団		総会・研修会	4月28日	本願寺山陰教堂	高橋折了	
		地区別布教大会	大遠忌法要のため中止			
		青年布教使育成教区研修会				
		第４連区布教使研修会	H24年3月5日～6日	山陰教区	天岸浄圓	
		第４連区青年布教使研修会	H24年1月30日～31日	安芸教区		
		全国布教使大会	6月29日～30日	京都・本願寺		
		寺院振興「ともしび法座」（11年目）				

憂楽帳

鹿足組 教西寺
宮内真也

私は、私をよく知る人達から、ぼんぼんだと言われます。認めたくはありませんが、恐らくその通りでしょう。人一倍プライドが高く、そのくせ努力を好みません。誰かが何とかしてくれるだろうと甘えながら生きてきました。

このままではいけないと危機感を募らせている時に、二月二十八日、波積の光善寺様において開催された「青年布教使研修会」での実演布教の機会を頂きました。

自分自身を客観的に評価するのは難しい事です。かといって他者に自分の評価を委ねる事も勇気のいる事です。しかし、私達僧侶は真剣に聴聞されているお同行に対して、一つ一つの言葉に責任を持たなくてはなりません。厳しい評価を覚悟して、命を懸けてお取次させて頂きました。

経験豊かな先輩方からの助言の数々は、厳しくも温かい、そして的確なもので、私の大きな財産となりました。遺産もそうですが、頂いたものは一人占してはいけません。阿弥陀さまからの御恩を多くの人達と共有できる様に、今後も勉学、布教を頑張ろうと思わせてもらった有意義な研修会でした。

編集後記

多くの組が宗祖親鸞聖人七百五十回大遠忌法要に参拝されたことでしょう。旅行初日に名神での大事故に遭遇し、二時間以上も足留めされました。わずか一キロ先のことであり、私達が事故に巻き込まれたかもしれませんでした。朝に紅顔あって夕に白骨となるとは他人事ではありません。▼この度の法要は宗祖の遺徳を偲び、お念仏のみ教えを受けとめ、伝え広める機縁とともに、東日本大震災で被災された方々に寄り添い、思いを分かち合う願いの中でお勤めされます。ただ、〝寄り添う〟というのが、言葉だけで終らないようにしたいものです。▼全国布教使大会でのパネラーの話が気になりました。ガン宣告を受けると、どこで聞いてきたのか、新宗教の人が勧誘に来て、治療にも支障をきたすということから、今では一切の宗教行為を全面禁止にしている病院が増えているそうです。悲しいかな、お念仏の教えも、怪しげな病気治しの宗教も一緒に扱われている現状があるようで、非常に残念なことです。（RS）

……ともに　いのち　かがやく　世界へ……

「大遠忌法要」
「念仏奉仕団」
の団体参拝の計画は
お気軽にご相談下さい。

世界の旅 ホリデー

……旅のことならどんな事でも……

knt! 近畿日本ツーリスト

〒690-0887　松江市殿町517番地
（国土交通大臣登録旅行業第20号）
☎(0852)22-4893（にこにこ よやくさんばん）